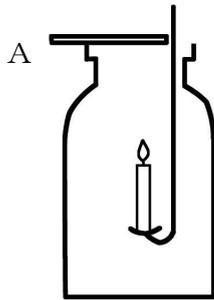


小6 1 物の燃え方と空気

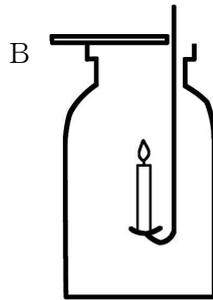
()年()組()番 名前()

1 物の燃え方について調べました。

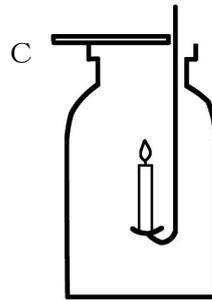
下のA～Dのびんの中には、酸素、二酸化炭素、ちっ素、空気のいずれかの気体が入っています。どの気体が入っているのかを調べるために、火のついたろうそくをびんの中に入れてみました。その後、石灰水を入れると、下のような結果になりました。A～Dの気体は何でしょうか。気体の名前を()に書きましょう。



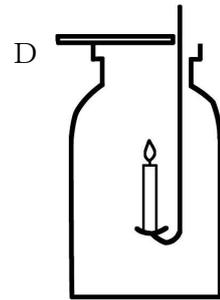
すぐに消えた。石灰水は変化しなかった。



はげしく燃えた後消えた。石灰水が白くにごった。



燃えた後、ゆっくりと消えた。石灰水が白くにごった。



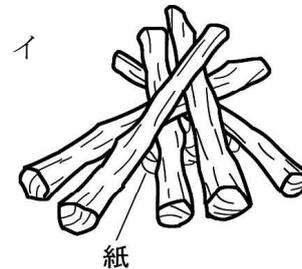
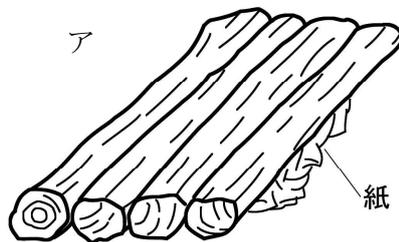
すぐに消えた。石灰水が白くにごった。

() () () ()

2 キャンプでのカレー作りのために、火をおこすことになりました。

紙を燃やして、木に火をつけようとしています。次のアとイから、よく燃える木の組み方を選び、記号に○をつけましょう。

また、そう答えた理由も書きましょう。

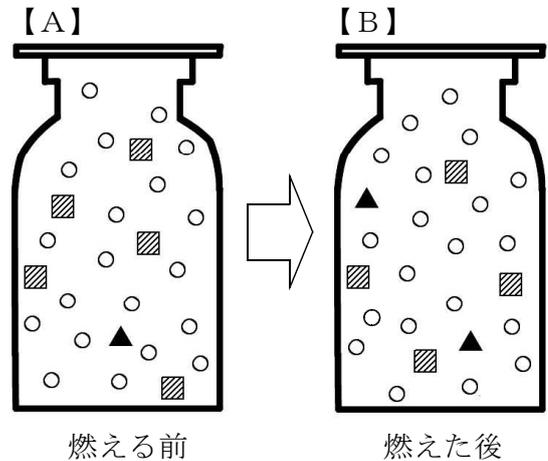


〈理由〉

Blank box for writing the reason.

③ ろうそくが燃える前【A】と、燃えた後【B】のびんの中の気体について調べました。
 (1), (2) は完全解答とします。

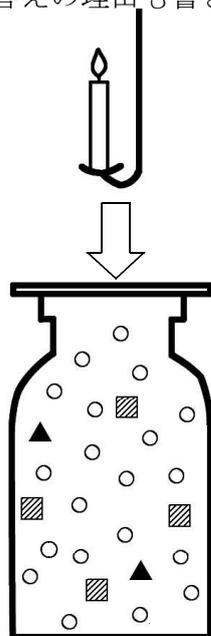
(1) ろうそくが燃える前と燃えた後の、びんの中の気体のようすを図にしました。○ ▲ ▨ は、それぞれ気体を表しています。それぞれの気体は何でしょうか。
 また、そう答えた理由も書きましょう。



- ()
- ▲ ()
- ▨ ()

〈理由〉

(2) 【B】のびんの中に、火のついたろうそくを入れました。ろうそくの火はどのようなでしょう。次のア～エの中から1つ選び、記号に○をつけましょう。
 また、選んだ答えの理由も書きましょう。



ろうそくが燃えた後【B】

- ア すぐに火が消える。
- イ しばらくしたら火が消える。
- ウ 火が燃え続ける。
- エ はげしく燃える。

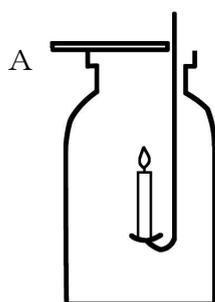
〈理由〉

小6 1 物の燃え方と空気

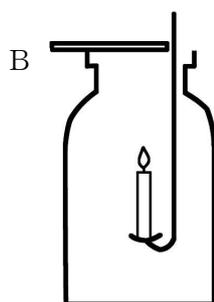
()年()組()番 名前()

1 物の燃え方について調べました。

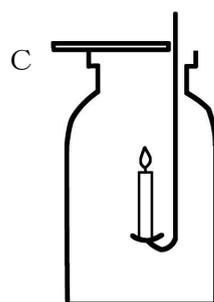
下のA～Dのびんの中には、酸素、二酸化炭素、ちっ素、空気のいずれかの気体が入っています。どの気体が入っているのかを調べるために、火のついたろうそくをびんの中に入れてみました。その後、石灰水を入れると、下のような結果になりました。A～Dの気体は何でしょうか。気体の名前を()に書きましょう。



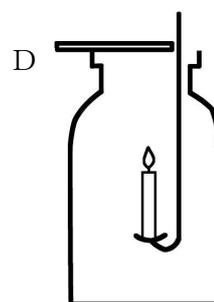
すぐに消えた。石灰水は変化しなかった。



はげしく燃えた後消えた。石灰水が白くにごった。



燃えた後、ゆっくりと消えた。石灰水が白くにごった。



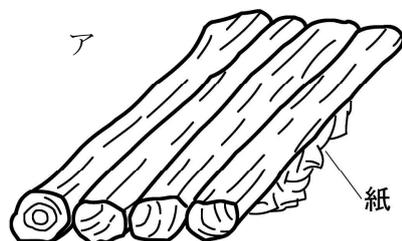
すぐに消えた。石灰水が白くにごった。

(ちっ素) (酸素) (空気) (二酸化炭素)

2 キャンプでのカレー作りのために、火をおこすことになりました。

紙を燃やして、木に火をつけようとしています。次のアとイから、よく燃える木の組み方を選び、記号に○をつけましょう。

また、そう答えた理由も書きましょう。

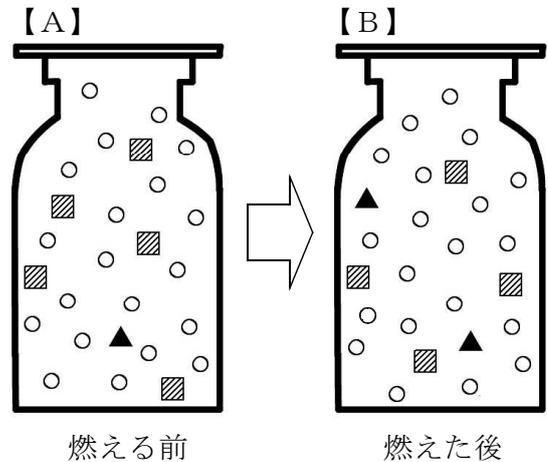


〈理由〉

イの組み方が、たえず空気が入れかわることで、木が酸素とふれやすいからよく燃える。

③ ろうそくが燃える前【A】と、燃えた後【B】のびんの中の気体について調べました。
 (1), (2) は完全解答とします。

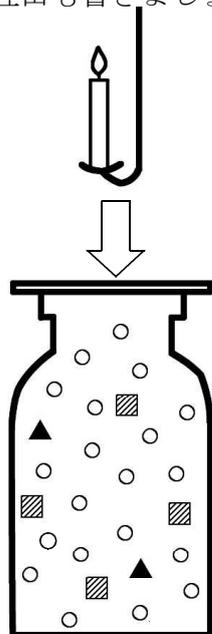
(1) ろうそくが燃える前と燃えた後の、びんの中の気体のようすを図にしました。○ ▲ ▨ は、それぞれ気体を表しています。それぞれの気体は何でしょうか。
 また、そう答えた理由も書きましょう。



- (ちっ素)
- ▲ (二酸化炭素)
- ▨ (酸素)

〈理 由〉
【A】と【B】を比べると、燃える前も燃えた後も○の数は同じなので、体積の割合が変わらないのが「ちっ素」だから、○は、「ちっ素」である。
また、燃える前と燃えた後の体積の割合が、▲は増えて、▨は減っているの、▲は「二酸化炭素」、▨は「酸素」である。

(2) 【B】のびんの中に、火のついたろうそくを入れました。ろうそくの火はどのようなでしょう。次のア～エの中から1つ選び、記号に○をつけましょう。
 また、選んだ理由も書きましょう。



ろうそくが燃えた後【B】

- ア すぐに火が消える。
- イ しばらくしたら火が消える。
- ウ 火が燃え続ける。
- エ はげしく燃える。

〈理 由〉
びんの中にある酸素の体積の割合が少なくなっている(減っている)から。